

## 第1回地方独立行政法人名張市立病院評価委員会 議事録

日時：令和6年6月26日（水）15：00～16：30

場所：名張市防災センター2階 防災研修室

出席者：（委員）伊藤委員、森岡委員、江藤委員、時枝委員、和田委員

（事務局）北川市長、中村副市長、田中総務部長、岩本福祉子ども部長、藤井病院長、登内顧問、吉岡副院長、大北事務局長、中西理事、辻川総務企画室長、瀧本総務企画室係長、吉岡総務企画室主任

傍聴者：計10名

発言者	内容
伊藤委員長	<p><b>1. 委嘱状交付</b> 北川市長より伊藤委員、森岡委員、江藤委員、時枝委員、和田委員の順に委嘱状を交付。</p> <p><b>2. 市長あいさつ</b> 北川市長よりあいさつ。</p> <p><b>3. 委員紹介</b> 伊藤委員、森岡委員、江藤委員、時枝委員、和田委員の順に紹介。その後、事務局の紹介。</p> <p><b>4. 委員長の選出</b> 委員長に伊藤正明委員が選出される。</p> <p><b>5. 議事</b> それでは、議事に入りたいと思います。最初に、「資料1 評価委員会運営要綱」につきまして、事務局よりご説明をよろしくお願ひします。</p> <p>（中西理事より評価委員会運営要綱（案）の説明）</p>
伊藤委員長	<p>ありがとうございました。本委員会が、当該要綱を定めて会議を運営するものとされておりまして、中でも重要なものとして、会議の公開に関する事項、会議の傍聴に関する事項という風になっておりますけれども、これに関しまして、ご意見はございませんでしょうか。</p>
和田委員	<p>議事録の書き方ですが、誰が何を言ったかっていうところは、名前で</p>

<p>中西理事</p>	<p>出るものなのか、要旨として出すのか、その辺りはどのようにお考えになられていますでしょうか。</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>議事録になりますので、発言者の委員の方々のお名前、事務局側の説明者については、明記をさせていただきたいという風に考えてございます。</p> <p>よろしいですか。何かご意見やご異議はございますか。よろしいですか。これ以上のご異議がないようですので、地方独立行政法人名張市立病院評価委員会運営要綱（案）は可決にさせていただきます。今後は、本要綱に基づき運営をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>（大北事務局長より「資料 2 沿革と概要から評価委員会の役割」について説明。その後、有限責任監査法人トーマツ八木田氏より「地方独立業英法人制度の内容」について説明。）</p> <p>ありがとうございます。ただいま、委員会の概要、そして評価委員会の役割というところを中心にご説明をいただいております。</p> <p>それでは、先ほどご説明いただいた内容につきまして、委員の皆様よりご質問はございますか。どうでしょうか。ご発言の場合は挙手をお願いしたいと思います。特にございませんか。よく理解できるように説明をいただけたなと思います。特に評価委員会、我々の役目っていうところですね。</p> <p>例えば、独法化してからもこれは行われるのですか。ハードスケジュールになるように思いますが。</p>
<p>中西理事</p>	<p>本評価委員会におきましては、今は独法化を目指すための評価委員っていう形にはなるのですが、独法化した暁も継続して評価委員会に期間を定めた中で市長が委嘱を行い、開催していくというような形になります。常に行政と並行した形で評価委員と歩調を合わせながら歩んでいくというようなスタイルになろうかと思えます。</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>委員の皆様、いかがでしょうか。何かご発言をいただける方はみえますか。</p>
<p>和田委員</p>	<p>まず、中期目標が市から病院に対して、こういう機能でこんな形の病院にきなさいということが出てくるわけです。今度は、病院からその目標に向かってこんな計画でやりますという案が出てくるので、それでいいのかとか、もっとこうする方法があるのではないかなど、そういうような議論をしながら、中期計画が出来上がる。そのあとに、モニタリ</p>

伊藤委員長	<p>ングが始まり、そのとおり病院が実施しているかどうかというのを評価委員会が意見をしながら、こうすればもっと目標にたどり着くのではないかなど、そのような議論になるのではないかという風には思っています。</p> <p>ありがとうございます。どういった感じで進めていくのかということを追加発言いただきました。あと、よろしいですか。</p>
時枝委員	<p>18 ページに随分わかりやすい図を書いていただいております、ありがとうございます。これは、この評価委員会でどうこうというよりも、この表を見ながら思ったのは、もともと独立行政法人になるという検討の公表と過程の中で、先程の説明にもありましたように、最初に議会から「こんな課題があるので検討しましょう。」というような提言もありますが、その中で感想にはなりますが、病院の経営と言いますか、これから先、とにかく意思決定が早くないとダメというのは非常に思っています、病院の改革についても3年ぐらいかけてようやくここまで来たかというような感じで発言をしたこともあります。この表を見ながら、いよいよ前に進んでいくということとすると、これから色々な課題がある中で、解決していくということからしますと、もしかすると傍聴にいらっしゃるかわかりませんが、どのことも多分、議会を通過して決定していくということになろうかと思しますので、本当に議会の方にお願いのような感じになりますが、病院のことで何か案件がある場合、議会を開いていただいて、早急に決めていただきたいとこの表を見ながら思います。議会自身も意思決定が早くなるようにという要望を出されておりましたので、この表を見ながら普通の案件と同じように、何かの案件を決めるに当たり、1か月待ち、2ヶ月待ちのような面白いことにならないよう、議会の方も病院から案件については、すぐに議会開いていただいて決めて前に進めてほしいということはこの図を見ながら思ったところです。</p>
伊藤委員長	<p>ありがとうございました。先程の時枝委員からのご意見で何か事務局の方からありますか。タイムリーに進めていくということですけど。</p>
大北事務局長	<p>議会の関与ですが、資料20ページのところでございまして、右側のところが議会の役割ということでございます。様々なところで関与していただくわけですが、特徴としましては、中期目標、中期計画を議決するというところで、中期目標は原則4年間になりますので、4年間の方針を決めていただいて、中期計画を我々が策定し、その間のやり方については、自主性が発揮され、運用されるということで、そのような中で、今までのように、逐一報告をして議決をしていくということは</p>

<p>伊藤委員長 森岡委員</p>	<p>なくなっまいます。毎年の年次計画や毎年の評価については、評価委員の方に市長は意見を聞かせていただき、その内容を議会に報告という形でさせていただきます。もちろん、意見を聞かせていただき、そのご意見は真摯に受け止め、経営には活かしていくということになりますが、議決という面では少し関わり方が変わってくると思います。</p> <p>よろしいですか。それでは、その他、ご意見どうでしょうか。</p>
<p>中西理事</p>	<p>この18ページの図で理解できたところなのですが、例えば、中期目標というのは、あくまでその設立団体の名張市ということです。中期目標を策定するというので、例えば、理事長、院長が、「このようなことをしていきたい」という意見は、ここにはもう反映されずに、あくまでも市の中で策定した目標を示し、「この目標でしなさい」というような感じの理解でよろしいですか。病院の人たちの「こういことをしていきたい」、「こういところを強くしていきたい」という意見は、置いておいてという感じになってしまうのですか。</p>
<p>森岡委員</p>	<p>ありがとうございます。確かに、病院のビジョンっていうものは非常に尊重されるべきものであるという風には考えておりますけれども、やはり行政機関としては、地域住民全体の命と健康を守っていかなければならないという責務もございますので、そうした観点から擦り合わせを行いながら、中期目標を定めていくというようなことがなされていくという形になるかと思ひます。常に法人と行政が協議を重ねながら、また、病院が進むべき方向というものが明確にあるのであれば、そういうところも尊重させていただきながら構築をしていくというような形になると思ひます。</p>
<p>中西理事</p>	<p>例えば、中期目標を立てていく中には、理事長先生とか院長先生は入るのですか。</p> <p>あくまでも目標を策定するのは市であります。策定するグループと言ひますか、チームの中に理事長先生が入るところは違ひと思ひます。ただ、その策定チームと法人の理事長先生たちとの話し合ひや協議というのは、常に行われるべきところであるという風に考えております。</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>ありがとうございます。あと、どうでしょうか。よろしいですか。ありがとうございます。</p> <p>それでは「資料3 中期目標の策定とスケジュールと中期目標骨子(案)」について、一括してご説明よろしくお願ひいたします。</p> <p>(中西理事より「資料3 中期目標の策定とスケジュールと中期目標骨</p>

	子（案）」について説明。）
伊藤委員長	<p>ありがとうございました。中期目標の策定とスケジュールというところと、中期目標の骨子案ということでご説明いただいております。それでは、非常に重要なところに入ってきたかなと思いますけれども、是非、委員の皆様方からご意見をいただきたいと思います。まず、中期目標の策定とスケジュールについて、いかがですか。最初の前半部分です。</p>
和田委員	<p>この資料ですと、一応、10月に中期目標のパブコメ前の素案が出てくるという予定ですから、次回、8月にはある程度、具体的に「こうする」というようなものが出てこないと間に合わないと思いますが、今から策定されるのですか。</p>
中西理事	<p>ありがとうございます。今、和田委員からいただきましたご意見にお答えをさせていただきます。骨子（案）を今回、提示させていただいたわけですが、8月の第2回の開催におきまして、中期目標の素案を提出させていただき、ご審議をいただく段取りとなっております。現在、中期目標の素案を策定中でございます。</p>
和田委員	<p>わかりました。例えば、2の1の「がんの医療需要に応じた診療機能の強化」とあるが、がん診療のどの部分を引き受けるのか。手術はするのかしないのか。化学療法をやるのかやらないのか。そのような、具体的な目標をもっていけないと、計画をどのように達成するかという内容の計画を策定しなければなりませんので、ここはやはり余り現状からかけ離れた目標を作ってしまうと後が苦しくなるように思いますし、やはり変わったところを市民にも見せなければなりませんので、それなりに一つハードルを上げるというような形で策定しなければなりませんので、ここは結構重要なところだという風に思います。</p> <p>中期目標は、他の独法さんの中期目標が全部公開されていますので、ある程度よく似た環境の独法の中期目標どのように策定されているのかということ参考にし、また、それに対する計画の内容も見ながら、まさに「実現できる、かつ希望が持てる」そんな目標にしてほしいと思います。</p>
伊藤委員長 時枝委員	<p>ありがとうございます。ほか、どうでしょうか。</p> <p>今の質問に引き続きですけど、以前に経営強化プランの時の委員もさせていただいていましたので、令和5年12月に発表されている経営強化プランが、このような冊子に仕上がっていて、多分、国に提出したと思いますけれども、この時に強化プランを策定している時には、数</p>

<p>伊藤委員長 中西理事</p>	<p>字的にかなり難しいというようなイメージで最後終わっていると思いますが、ほぼ、このような感じの中期目標が、ここで出てくるということになるのですか。</p> <p>いかがでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。経営強化プランの内容というのは、非常に重要性の高い項目になっているという風に認識をしてございますけれども、やはりこの経営強化プランというものは、病院がどのような医療提供サービスをやっていくかというところで、非常に具体化された内容が記載されておまして、こうした内容につきましては、既存の法人施設等々の例を参考にさせていただく中での認識でございますけれども、中期計画に記載される内容という風には認識をしてございます。あくまでも、現在、策定をしております素案につきましては、大きなマクロ的な分野における地域医療の確保という観点からの目標設定になるという風には考えてございます。ただ、中期計画に繋がるような目標でないといけないという風な認識もしてございますので、その辺りにつきましては、法人側が計画を策定しやすいような形で記載をしていくことになるという風に考えてございます。</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>その他、いかがでしょうか。</p>
<p>中西理事</p>	<p>在り方委員会としての結論の中には産婦人科っていう診療科が書いてございます。今回、この骨子の中には、それはどうなるのですか。</p> <p>ありがとうございます。非常にその分野については、センシティブな部分でもあろうかという風には思うところですが、本市におきます分娩可能施設が、減少傾向にあり、地域の住民の方々が出産をする場所が非常に困難であるというような課題があるのは確かでございます。そこにつきましては、今後も市と法人が常に検討を重ねつつ、また名賀医師会とも話を前向きに進めていきつつというような形で解消していくべきところのかなという風にも考えているところでございまして、今ここで、こういう風にしたいというような回答がしにくい状況でございます。</p>
<p>伊藤委員長 江藤委員</p>	<p>ありがとうございます。あと、いかがでしょうか。</p> <p>前半の説明のところで職員の意識改革というような事があったと思うのですが、どういう風に意識改革をしていかないといけないという風に思われているのか教えていただきたい。</p>
<p>中西理事</p>	<p>ありがとうございます。職員の意識改革に関するところとしましては、骨子の中の第3の1の中でうたわれております「内部統制」というところに非常に大きく関わってくるという風に考えてございます。</p>

	<p>やはり職員の意識を変えていくには、職員一人一人が、経営や病院運営というところに意識を持ちつつ、それぞれが担う役割というものを認識した中で、「日常業務の効率化を図る」であったり、「患者サービスの向上を図る」であったり、そういった発想の実現性を高めていくというようなどころを持つての意識改革というところが非常に重要なのではないかなという風に考えてございます。そうした風土を醸成するためには、しっかりとした内部統制、いわゆる組織における三角ピラミッドをもう 1 度再構築を図る。また、医療では結構昔から「チーム医療」というところが提唱されているわけですが、その三角ピラミッドの中にもやはり横連携というところが非常に重要になってきますので、それぞれの職種がそれぞれに担う領域内で色々な意見を出し合い、より良い医療サービスの提供につなげていくということを管理職が採用し実現していくというところが職員の意識改革につながるのではないかなという風に考えてございます。そういった内容をこの辺りに盛り込みたいという風な感じで考えてございます。</p>
和田委員	<p>名張市立病院と伊賀に岡波総合病院と上野総合市民病院があり、この三つで救急体制の連携をされていますけれども、今後、この中期目標を策定する時に、その他の病院との連携とか役割分担とか、その辺りを最終版にする前には、やはり、お互いにコミュニケーションをとらないと、「名張だけこんなことする」というようになると、少しまづいかなという思いもありまして、そこは、三つの病院が、「大きな伊賀と名張の地域をどのように守るか」というような観点から目標を策定してほしいと思います。</p>
中西理事	<p>ありがとうございます。まさに、和田委員がおっしゃられるとおりであるという風に認識をしております。</p> <p>特に、伊賀地域で今現在も行っております二次救急の輪番体制。これは、もう 3 病院が連携をしないと成り立たない救急医療体制でございますので、そこに対しても同様の効果も発揮されるでしょうし、在り方検討委員会からいただいた答申内容のところにも、それぞれの基幹 3 病院における役割分担と連携という文言もうたわれております。そうした観点からも、やはり基幹 3 病院、また、伊賀地域に存在する医療機関、それぞれの医師会とも連携を深めながら、地域全体で地域住民の命と健康を守っていく。そうした考え方をしていけないといけなかな。そういう時代に入ったのかなという風な認識も持っておりますので、そうした内容を込めた中期目標に仕上げていきたいという風な気持ちでございます。</p>

伊藤委員長	<p>私からも、限られた医療資源といいますか、ベッド数も 200 ということで、中規模というところもありますので、やはり市民の皆さんは、ある程度しっかりとした診療を受けたいと思われている。やはり、様々な疾患がその病院で完結するというのは難しくなっています。内科でも様々な専門の内科がある。外科でもそうです。ですので、是非、3 病院で、色々なところでも、どこかがカバーできるという形で、とりあえず診療の連携も重要です。しっかりと安心していただけるような内容にさせていただいた方がいいのではないかなという風に思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。あと、どうですか。</p>
時枝委員	<p>先程、既にありました質問の中で、少し追加で教えてください。職員の意識改革という質問があった中で、職員といったときに、30 数名だったと思いますけれども、医師はもちろんその中に入っていますね。市民の目線からすると病院の職員で、看護師だけ山ほどいる。医師は、他から来て、2 年か 3 年でピッと帰っていくから、ここがダメだという市民からたくさん言われているのです。だから、そこに是非、その医師の方の改革からやってもらわないと、看護師がついていけないと思います。多分、今まで出来ていないから難しいと思いますが、そこを何とかお願いします。もう一つ、先程の地域医療との連携の中で、これは、少しまだよくわかってないのですが、先程の救急を担う二つの病院との連携とかですね、地域のたくさんのお医者さんとかクリニック等との連携とか、独立法人化したら、法人に中期計画をポンと投げられて、地域連携も法人の方の役割のようなことで、市の方からピッと投げられたとかいって、その中に隣の市との連携とかであれば、市長筆頭に行政そのものが連携してあげて、その環境をつくるなどして、病院でなんとか連携していけそうだというような 周りの環境づくりのところ、ものすごく難しいという風に思います。</p> <p>「これは、こっちの市とあっちの市と仲が悪いからできない」とか。このような人が居ながら「こうなさいとか言って、下の方に下ろす」などというような中途半端な中期計画には是非ならないように、中期計画の地域医療連携というところでは、「行政は何をする」、「市長は何をする」、「副市長は何をする」、「部長は何をする」、「病院はここからはやってください」など、「一緒にしましょう」とか、どこが責任の主体なのかわからないような、ぐちゃぐちゃとして、全体では「結果として評価的に難しかったです」のようなことではなくて、その入り口の中期目標の時から、「行政は何をする」、病院は何をする」という辺りに少し踏み込んでほしいという風に特に思います。これは単に私が今、地域づ</p>



	<p>くりの役員の代表をしているからそう申し上げている。行政から、「これこれ地域やって」、「これ地域でやってくれ」とバァーってくる。それで、行政は何するのという、何かだんだん減っていつているというだけの話で、何かよくわからないような。地域づくりの小さな組織なので、こちらの方がいいですけど、病院の方は、特に大変です。「行政はどうします」、「病院はどうします」というような辺りに、必ずしも区切りはつかないとは思いますが、そこに何か踏み込んだような中期目標が少し出てくれると有難いと思っています。でない結局、最後の中期目標に対する答申のところに、「これでは多分、推進体制が弱いです」と答申に書いて出しておしまいのような、そのようなことになる 1 個前の中期目標のところに、そうした推進のことの責任のような部分に少し踏み込んでほしいという風に思いますので、事務局の方、よろしくお願いします。</p>
伊藤委員長	何かコメントありますか。まあ、要望ですよ。
時枝委員	要望です。
中村副市長	<p>ありがとうございます。まちづくりについては、本当に地域づくり組織の皆さんに、お世話になっておまして、本当にありがとうございます。地域医療については、今もそうですけど、やはり行政の役割は大きいところがございますし、その地域医療を実現するために独立行政法人に対して行政が示す中期目標というものがあるという風に理解しておりますので、その役割分担をしっかりとするとともに、今ちょうど議会でも報告をさせていただきましたが、伊賀地域の定住自立圏構想ということで、伊賀市さんを中心市としたそういう構想にもこれから参加をしていく中でも、医療連携というところも書かさせていただいておりますので、近隣市町を含めて、そういった地域医療をどう守っていくかということは行政に与えられた大きな責務だという風に考えてございますので、「役割をきっちりする」、現場と施策を政策として動かしていく行政との役割分担をしっかりと取りながら、進めていきたいという風に考えてございます。よろしくお願いします。</p>
森岡委員	<p>医師のことだったのですけれども、名張市立病院のお医者さんは、かなり多くは意識高いと僕は思っております。普段、市立病院の先生と話す機会も多いですけども、やっぱり市立病院の先生は、かなり意識が高い。「良くしていこう」、「いい医療をしていこう」という、ものすごく意識が高いと僕は思っています。例えば、僕らが救急でお願いする時に当番で市立病院、他の病院の時もありますけども、やっぱり名張市立病院に紹介する時って、やっぱりすごく安心感があります。他の病院はお</p>

伊藤委員長	<p>いておきますけれども、市立病院の先生は、本当に快くどうぞという感じで取っていただけますね。やはり、市立病院の先生がおっしゃるのは、やっぱり人がいない、やっぱり医師が少ない、看護師が少ない。だから、やっぱり1番課題なのは、「医師の数を増やす」、「看護師の数」、あと「離職を減らす」という、そこがもう何よりでして、そこをとにかく何とか解消していきたい。何とか医師の数ですね。これが非常に難しいこの地域、この名張という、この地理的などところもありまして、なかなかそこが一番難しいところではあるのですけれども、そこを何とか解消していきたいですし、あと独法化して、とにかく医師が働きやすい環境というか。例えば、いいカメラを少し用意したり、医療機器とかです。やっぱりいいものをできれば使っていただいて、いい医療をしていただけるようになったら、もっといいのになっていう風に思っております。まず、医師の数から。市立病院の先生方も本当に頑張っていていただいていると思います。</p> <p>私からも医師数についてのコメントです。このつい半年ぐらい前に、三重県地域医療対策協議会でも地域別の医師の偏在というのを議論した際に、これまだ、開業されている先生方と病院の先生方と分けてまだしっかりと検討していませんが、伊賀地域に医師が充足している診療科がないと言いますか、もう全て足りないという地域局在が起っておりまして。その局在の一番激しいとされるのは、東紀州もかなり少ないですけど、東紀州の方は、人口が減ってきてまして、10万人対では少しずつ医師が増えているように見えるが、実は住民が減っているという少し変な現象から、多少は緩和しているのですけれども、この伊賀地域は、ものすごく少ないです。例えば、藤井院長からも聞いていますが、内科でも消化器内科が、本来の充実した診療を1病院でするにも、まだ足りないという状況がありますので、この骨子の中には、やはり医療従事者をしっかりと増やしていける環境といいですか、名張市立病院の中の環境と、あとは、やはり連携ですね。そういったところで、少しやっぱり厳しい時には、もう本当になかなか余裕がないと十分な質の高い医療はできませんので。恐らく一番の問題は、森岡先生が言われたように、医療人が足りないということで、そこがある程度充足しますと、専門性もあり、少し医師の余裕も出てくれば、それは非常にいい医療が更に出来ると思いますので、独立行政法人化して、最初は経営というのが一つ大事だと思いますけど、もう一つは、その経営にも直接つながるような医療人をいかに確保するかも重要であると思います。三重県の医療、医師は確実に増えてきており、場合によっては、厚労省にも</p>
-------	--

<p>和田委員</p>	<p>「十分だな」と感じられる地域も出てきています。ですから、この点を何とか頑張れるような中期目標にさせていただければと思います。議会の先生方、市の皆様方、病院の皆様方、共通した目標にこの点をしていただけるというのが一つ大切だになっていう風に思いますので、是非、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>あと、どうでしょうか。働き方改革は、医師の数にもよりますが、非常に重要です。今はまだ緩和措置でいけますけれども、だんだん厳しくなると、更に超過勤務もできなくなるということになりますので、その点についても大切です。</p> <p>私もその働き方改革の少し委員もさせていただいてまして、やはりその残業規制がもう入っていますので、その中でどういう風に、特に医者が少ない場面になると当然、残業でカバーするところが、残業が規制されると、一番しわ寄せがくるのが患者の方なので。よく言われているのが、やはりITなどを使って、医者とか看護師とか医療従事者が、その医療以外のことになるべく時間を使わない。例えば、音声で記録を作っていくとか、色々な方式、厚労省に載っている「いきサポ」という、色々な事例が載っていますので、そのようなものを積極的に取り入れて、いかに好待遇で働きやすい職場という評判が立てば、やっぱりお医者さんは来るのではないかなと思ったりもしますので、是非、その辺りはこれからの目標であり、計画の中にどんどん入れていただきたいと思います。</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>そうですね。これからは、デジタルというのは非常に大事なテーマだと思いますので。愛媛にあるHITO病院。そこでは医師と看護師が、スマホのチャット機能で連絡や会話をしているようです。そうすると、対面で言うよりハードルが下がって非常に良い。民間でたくさん使われているレベルのIT・DXが、なかなか医療では活用されていません。例えば、患者さんのCTとか色々なところがありますけど、そうした事例もありますので、HITO病院と名張市立病院、病院の規模は恐らくよく似ていると思います。急性期医療から回復期までを全部やっている病院です。様々な事例がありますので、我々も三重で医療DXを進めながら、デジタルが働き方改革に直結し、サービス向上につながりますので、是非、皆さんと一緒に進めていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。あと、どうでしょうか。</p>
<p>時枝委員</p>	<p>もう1個お願ひです。私、大阪の会社勤めだったものですから、この人事評価という辺りのところにまで踏み込んでおられますので、特に職員の皆さんは、本当に市の職員として、市の労働組合に入られてこ</p>

	<p>れまでずっと働いてこられたというところから、基本的な処遇等は維持されながら移っていくのだろうとは思いますが、ただ、中身的には少し会社寄りと言いますか、実際の評価によって、処遇が動いていくというような辺りには取り組んでいくということになっていこうかと思えます。そうだとすると、本当に職員の皆さん方にとっては、やっぱり、とても気持ちも動くかも知れないようなことになろうかと思えますので、少し慎重でありながら、でも、そこに入っていて、本当に患者さんのためのサービス向上に繋がっていくというところは、はっきりと価値としてそこを目指すわけですから、そこにより近いというか、より貢献されるというような方が、少し処遇上の上に行くというようなことにはしていかなければならないとは思いますが、そこに取り組んでいただけるのだろうという風に思っています。より少し慎重にしていたかないと、本当に今の福祉関係と言いましょうか、こういう医療関係、特に資格があるような方たちの職場の異動というか、もうすぐ辞めちゃうという世界が、どんどん膨らんでいくというのも、また前に進んでいけないという大きな条件になりますので、しっかり取り組んでいただくと同時に、是非、慎重に進めていただくようお願いしたいと思えます。</p>
伊藤委員長	<p>よろしいでしょうか。あと、私の方から、財務のことですけれども、中期計画を立てる時点で、今回は3年半ですが、その期間のこの運営費交付金の額というのも決まるのですか。</p>
中西理事	<p>ありがとうございます。この辺りにつきましては、市の財政当局と当然ながら協議する必要性はあるという風に思っています。それが決まらなないと、いわゆるP/Lの最終損益が出ないということにもなりますので、その辺りは、病院と財政当局と協議をさせていただき、これぐらいの額というような額を決めさせていただくことになろうかと思えます。</p>
伊藤委員長	<p>あと、運営費交付金を入れなくて、かなり余裕が出た時には、例えば、給与を上げるとか、そういったところは法人内で決定できるか、それとも議会の承認がいるのですか。</p>
中西理事	<p>法人の理事長の決定でできます。</p>
伊藤委員長	<p>減らすことはないと思えますけど、責任は非常に重いということになるのですね。あと、中期をまたいで余剰金を動かすことはいかがですか。</p>
中西理事	<p>ここも理事長の決定です。</p>
伊藤委員長	<p>わかりました。ありがとうございます。あと、委員の皆さんも、大体</p>

江藤委員	<p>議論は、よろしいでしょうか。</p> <p>一応、看護職なので、看護のことで、やっぱり全国的に看護職の離職は、すごく問題になっていまして、「ちょうど3年目ぐらいで転職する」というのが結構問題になっています。看護師の確保というのなかなか難しくなっております。計画（経営強化プラン）の中では、HCUをつくるというようなのも書いてありましたので、HCUとかをつくるとなれば4対1を取らないといけないとか。やっぱり看護職が診療報酬上のところを担っているところがたくさんありますので、是非、すごく難しいところですが、「看護職確保」、「離職防止」その辺りのところを入れていただいた方が、専門学校のことも明記されておりますし。この辺りのところを充実させていただければという風に思います。</p>
大北事務局長	<p>看護師さんの離職については、本当に話題になっておりまして、色々な方々にご心配をおかけしているところでございます。当院としては、それを最優先課題として、院長筆頭に取り組んでおるところでございます。経営強化プランに書かせていただいたHCUのところですけども、もう既にICUとNCUの規格を持ったところがあって、そこに急性期の患者さんをどんどん入れています。ICUは3床でNCUは5床ですけど、もう既に看護師さんは、そういう患者さんを少ない7対1の体制で見いただいているので、そこに少し配置だけを変えれば、看護師さんの今やっけていただいている業務に見合った加点が取れるということなので、更に機能を上げていくというよりは、もう既に、そういう重症な救急患者さんを対応していただいている看護師さんに対して、適正な診療点数を取っていくための体制を整備していくという意味でさせていただきますので、一緒にやっていきたいと思っています。</p>
伊藤委員長	<p>よろしいでしょうか。議論は出尽くしましたでしょうか。ありがとうございます。それでは、かなり充実した議論ができたかなと思っています。それでは、一応これで全体としましては、よろしいですか。よろしいですね。</p> <p>それでは、本日の議論はここまでとさせていただきたいと思います。</p> <p>第2回の委員会では、先程出ました中期目標の素案が、議題となります。市立病院が、今後、公立の病院として担うべき役割、果たすべき使命などという様々な取組事項が目標として示されてまいります。役割分担と連携を含めた伊賀地域の医療提供体制と三重県内の医療提供体制の二つの視点から、中期目標について、議論を進めたいと思っております。本日は、これで終了とさせていただきます。</p>

<p>中西理事</p>	<p>第2回の委員会は、8月1日 木曜日を予定しております。 事務局からその他連絡事項、何かございますか。 事務連絡をさせていただきます。 本日、本委員会で使用させていただいた資料につきましては、速やかに市のホームページの方で公開をさせていただきます。なお、議事録につきましては、作成した上で、来月中には公開をさせていただく予定とさせていただきます。以上になります。</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、これで第1回の委員会終わらせていただきます。どうもありがとうございました。</p>